

事業活動に伴う環境負荷低減

EMS（エネルギー管理システム）

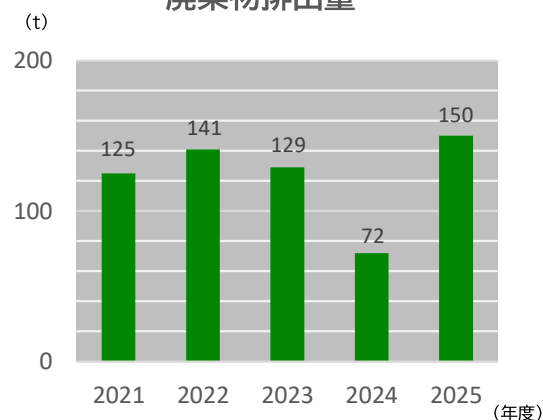
使用する電力をEMSシステムによって集中管理し、無駄なエネルギーの使用を抑えます。

設備の最適化

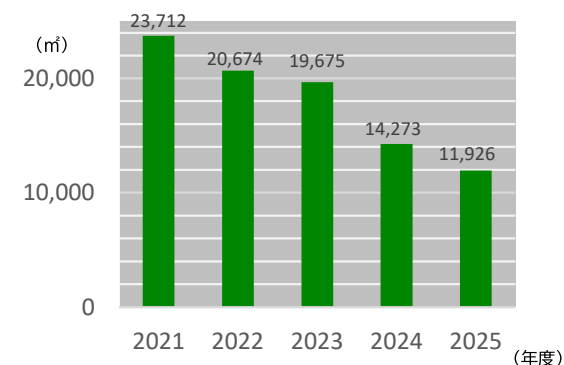
事務所や工場などで使用する設備（空調、照明など）の更新・最適化を計画的に進めております。

また、照明の間引きや休憩時間の消灯、空調は作業環境に配慮しながら温度の設定を行うなど、従業員全員が省エネ、節電の意識を常に取り組んでおります。

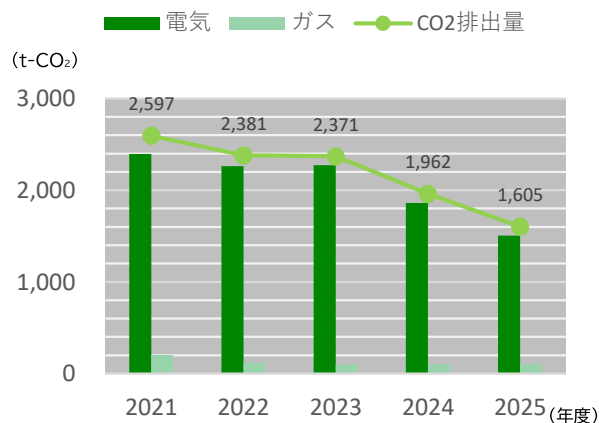
廃棄物排出量



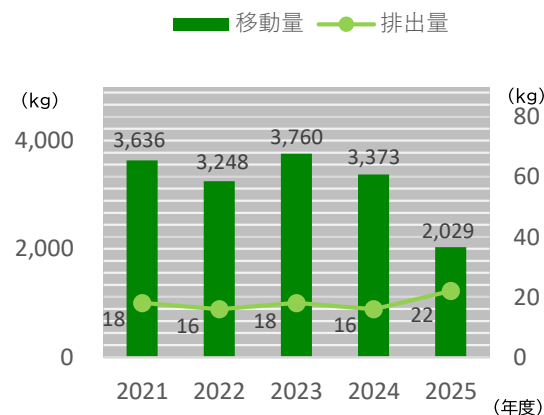
排水量



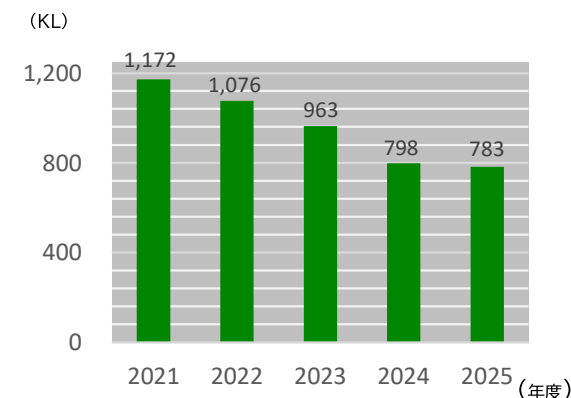
エネルギー使用に伴うCO₂排出量



PRTR取扱量



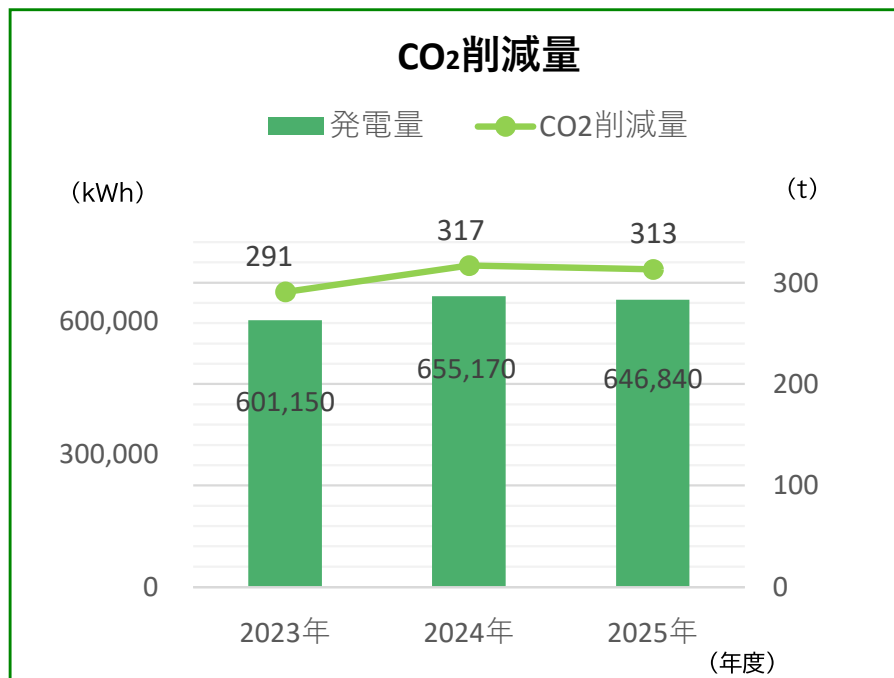
エネルギー使用量（原油換算値）



CO₂ 削減の取り組み

太陽光パネルの設置

当社は2007年に200kWの太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用を開始していましたが、昨今、気候変動が深刻化し世界的にも脱炭素経営が求められていること、またESG投資が拡大していること等を踏まえ、2022年2月に219kW、2023年2月に292kWの太陽光パネルを増設し、CO₂排出量削減、電力量削減を推進しております。



※CO₂排出量は中国電力(株)の排出係数0.484kg-CO₂/kWを使用しております。



グリーンボンドへの投資

広島県グリーンボンドプロジェクトに賛同

当社は広島県が掲げる温室効果ガス排出量の実質ゼロに向けた、「2050ネット・ゼロカーボン」に賛同し、本県が発行するグリーンボンド（広島県令和6年度第5回公募公債（グリーンボンド・5年））へ投資を実施いたしました。本債権を始めとしたSDGs債への投資を継続的に実施することで、今後も環境および社会の課題解決につながる事業やSDGsの達成に貢献する事業を資金面からサポートし、社会的責任を果たしてまいります。

資金使途の例

広島県HP「ecoひろしま～環境情報サイト～」より

【漁場環境の保全】	【照明のLED化】	【小水力発電】	【市街地再開発事業】
瀬戸内海域における 良好な漁場環境の創出	美術館等県有施設の 照明のLED化	小水力発電所の 設置にする補助	脱炭素化に向けた サステナブルな都市再生
			



広島県 ゼロカーボンシティ宣言

令和2年10月、「2050年カーボンニュートラル」が宣言されて以降、国においては、その実現に向けて、「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」の策定や「国・地方脱炭素実現会議」の開催などにより、「経済と環境の好循環」を目指した取組について、国を挙げて強力に推し進められています。

こうした中、広島県は、カーボンが様々な形で存在し、自然界や産業活動の中で循環し、持続的に共生できる社会経済「カーボン・サーキュラー・エコノミー」の実現を目指しています。

広島県は、これまでの省エネルギー対策や再生可能エネルギーの導入促進に加え、二酸化炭素を建設資材や燃料等の原材料として再利用する取組や農林水産業における利用、石油由来プラスチックからの代替促進などにより、環境と地域経済の好循環を図りながら、SDGsへも貢献することで、日本のみならず世界から注目を集めるような広島型カーボンサイクル構築の取組を推進していきます。

このため、2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指して、県民、事業者など多様な主体が一緒になって取組を進められるよう、「みんなで挑戦 未来につながる 2050 ひろしまネット・ゼロカーボン宣言」を行います。

令和3年3月18日

広島県知事 